

石油製品の価格動向について

平成18年7月19日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、7月10～14日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

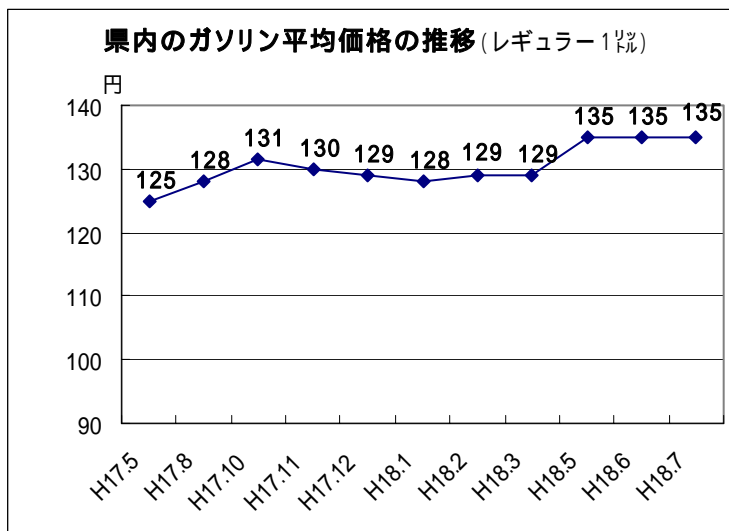
品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	7月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	135	135	0.0
		セルフ	132	134	1.5
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	113	114	0.9
		セルフ	110	111	0.9
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,403	1,370	2.4
		セルフ	1,344	1,335	0.7
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,496	1,492	0.3
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,600	6,657	0.9

6月の調査結果と比較すると、石油元売会社が7月の卸売価格を引き上げたことを受けてガソリン、軽油は上昇傾向にあり、灯油については小幅ながら値下がりしたものの需要期から外れた時期としては高水準で推移し、また、LPガスも依然高水準で推移している。今後も、原油価格の上昇が見込まれ、また、石油元売会社が卸売価格の引き上げを予定していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

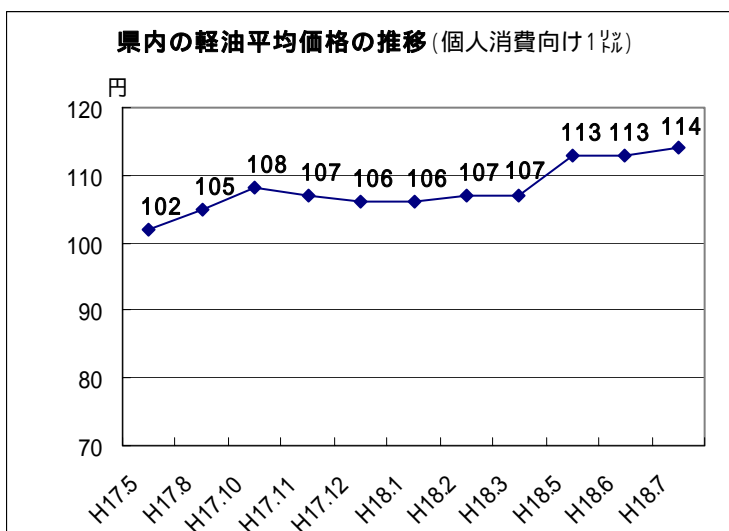
一般店舗価格



6月調査結果と比較すると、石油元売会社が7月の卸売価格を引き上げたことを受けて、0.6円上昇した。今後も、原油価格の上昇が見込まれ、また、石油元売会社が卸売価格の引き上げを予定していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

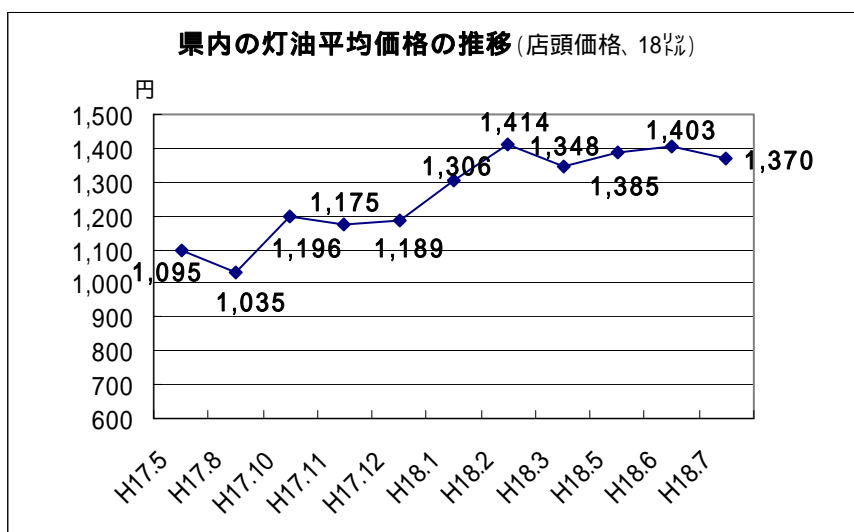
一般店舗価格



6月調査結果と比較すると、石油元売会社が7月の卸売価格を引き上げたことを受けて、7月は114円と上昇した。今後も、原油価格の上昇が見込まれ、また、石油元売会社が卸売価格の引き上げを予定していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

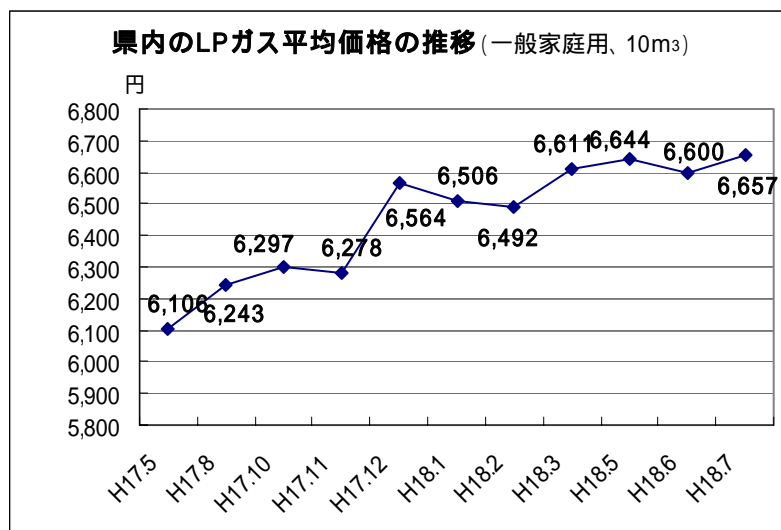
一般店舗価格



6月調査結果と比較すると、小幅ながら値下がりしたが、依然高水準で推移しており、今後も、原油価格の上昇が見込まれ、また、石油元売会社が卸売価格の引き上げを予定していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



わずかながら値下がりした前回調査と比較して、7月は6,657円とまた価格が上昇し、昨年12月以降、依然として高水準での推移が続いている。今後も原油価格等が高水準で推移することが想定され、また、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格(プロパン)が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。